

平成29年8月28日

各位

資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座
家畜生産生態学分野（高原農業実験実習場）・准教授候補者選考委員会
准教授候補者選考委員会委員長 佐藤匡央

九州大学大学院農学研究院 動物・海洋生物科学講座
家畜生産生態学分野（高原農業実験実習場）・准教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座 家畜生産生態学分野(高原農業実験実習場) 准教授候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

准教授・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する准教授は、大学院農学研究院資源生物科学部門動物・海洋生物科学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府資源生物科学専攻担当教員および農学部生物資源環境学科動物生産科学コース担当教員となり、高原農業実験実習場に勤務します。

動物・海洋生物科学講座は、家畜生体機構学分野、動物繁殖生理学分野、畜産化学分野、代謝・行動制御学分野、家畜生産生態学分野、海洋生物学分野、水産増殖学分野、水産生物環境学分野、アクアフィールド科学分野の9研究分野から構成されており、陸圏と水圏における動物性タンパク質の持続的安定供給ならびに動物資源生存環境の保全を目的として、動物生産の基盤である生命現象の生理・生態学的解明、動物体に含まれる機能性物質の探索と健康科学への応用、環境と調和し生態系に配慮した動物生産システムの構築、多様な動物資源の生存環境保全と高度利用を支える植物基盤の整備等、動物資源の生産環境・生命科学に関する諸問題を多様な観点から解明するための教育・研究を行っています。

このうち、家畜生産生態学分野は、環境調和型動物生産システムの構築ならびに持続的・高度利用に関する教育研究を行っています。

今回採用する准教授としては、高原農業実験実習場の管理運営を担当すると共に、

- (1) 環境保全型の動物生産技術の開発に関する教育研究
- (2) 家畜の生産性を向上させる飼養管理技術の開発に関する教育研究
- (3) 耕作放棄地や中山間地の未利用植物資源の効率的利用および管理に関する畜産形態の確立に関する教育研究

などを推進しうる方を求めています。

3. 採用予定時期

平成30年 4月1日

4. 応募資格

博士の学位を有するとともに、上記 2. の(1)～(3)の領域において優れた業績と該博な識見を有し、高原農業実験実習場(大分県竹田市久住町)に勤務し管理運営を担当すると共に、学部および大学院担当教員として学生の教育や研究指導に熱意をもって取り組む方

5. 担当授業科目

(1) 大学院

- ・ 博士前期(修士)課程

(資源生物科学専攻 動物・海洋生物資源学教育コース)

持続的動物生産科学特論、動物・海洋生物資源学輪講、動物・海洋生物資源学特別研究第一、動物・海洋生物資源学特別研究第二、フィールド畜産演習など

(国際開発特別研究コース)

Animal & Marine Bioresource Sciences など

- ・ 博士後期課程

(資源生物科学専攻 動物・海洋生物資源学教育コース)

動物・海洋生物資源学特別講究、動物・海洋生物資源学特別演習、動物・海洋生物資源学特別実験など

(2) 学部

(動物生産科学コース アニマルサイエンス分野)

動物行動生態学(分担)、農場実習Ⅰ、農場実習Ⅲ、農場実習Ⅴ、牧場実習、卒業研究、飼料学(分担)、科学英語、農学入門Ⅱ(分担)、卒業研究など

(国際コース)

Environmental and Ecological Science for Animal Production (分担)

英語による授業および研究指導も担当していただきます。

6. 提出書類

(1) 略歴書

(2) 業績目録

- ・ 原著論文：著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年

(i) 査読付雑誌、(ii) 査読なし雑誌、(iii) 査読付き国際学会プロシーディングス、(iv) その他、で区分すること(注：原著論文には、応募者にアンダーライン、責任著者に*を附すこと)

- ・ 著書：著者名、題名、発行所、発行年

- ・ 総説・解説等：著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年

- ・ 特許：発明者名、発明の名称、特許番号、特許登録年月

- ・ 学会等での受賞：受賞者名、賞の名称、受賞内容、学会名、受賞年月

- ・ 国際学会等招待講演：講演者名、講演題目、講演学会名、講演年月

- ・ 競争的資金：最近10年間の科研費を含む全ての外部資金および所属機関内の競争的資金の名称、採択課題名、期間、金額、代表・分担の別を記すこと

- ・ その他の外部資金：寄付金等の名称、期間、金額

- ・ 教育実績：教育実績がある場合は、その内容を記すこと

- ・ その他：特記すべき事項
 - (3) 主要論文の別刷り又はその写し（5編以内）
 - (4) これまでの研究の概要と今後の研究に対する抱負（1,000字程度）
 - (5) 今後の教育に対する抱負（1,000字程度）
 - *（1）～（5）の資料は、印刷物とは別にPDF化し、CDまたはUSBメモリーに保存したのもも提出してください。
 - (6) 推薦書
 - 自薦の場合：自薦書および応募者の教育・研究等について問い合わせのできる方2名の氏名および連絡先
 - 他薦の場合：推薦書（1通）
7. 面接等
- 審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。
8. 提出締め切り
- 平成29年10月13日（金）必着
9. 提出書類の送付先
- 〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10-1
九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門 食料化学工学講座 栄養化学分野
佐藤匡央（家畜生産生態学分野 准教授候補者選考委員会委員長）
電話：092-642-3004
E-mail：masaos@agr.kyushu-u.ac.jp
書類は書留またはそれに準ずる方法で提出のこと
10. その他
- (1) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行います。また、「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
 - (2) 本研究院、学府、学部等の教育研究概要等は、ホームページ（<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp>）を参照してください。
 - (3) 送付された資料は返却いたしません、選考以外の目的には使用しません。
 - (4) 給与等についての問い合わせ先：
九州大学農学部庶務係（電話：092-642-2802）

以上